【場所・面積】千葉県我孫子市、面積：4.343 ha

【区域の目的・概要】

利根川から派生してできたと考えられる湧水池「通称：四つ池」。絶滅危惧種のオオモノサシトンボの保全とゼニタナゴの野生復帰を目指しながら、区域が保有する生物多様性価値を損なわず、環境学習・レクリエーションの場等としても有効活用できるよう適切な維持管理を実施。

【生物多様性の価値の概要】

価値6：環境省レッドリスト2020において絶滅危惧IB類（EN）に選定されているオオモノサシトンボの生息が確認。地域絶滅種ゼニタナゴ（同レッドリストで絶滅危惧IA類(CR)）の野生復帰に取り組む。

価値7：オオモノサシトンボは関東平野、越後平野、仙台湾～北上川流域の3地域に分布し、既知生息地に対する現存生息地数は20%未満。ゼニタナゴは日本固有種であり、関東・北陸以北の本州に自然分布し、現在ではすべての分布域において激減し、関東地方ではほぼ野生絶滅。

【管理措置の概要】

有識者や市民団体と連携して生息環境の維持管理を実施。
年1回の協議会で、年間活動の進捗確認・計画の策定を実施。
①外来種駆除活動（年間を通じて）
②希少種放流（10月）
③外部関係者との学習・ボランティアイベント（6－7月）

・モニタリングは月次で実施。オオモノサシトンボが飛翔する5～6月は週次で実施。1月は極寒期のため活動なし。
・外来種駆除用のトラップにて捕獲された場合、ゼニタナゴの個体数も記録。

